

雪がた

—— 豊科病院だより ——



豊科病院広報誌 第10号
平成20年 6月 1日 発行
発行者 豊科病院広報文化委員会
〒399-8205
長野県安曇野市豊科5777-1
URL <http://shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。



最初から仕事ができる人は殆どいない。仕事をすぐ覚える人に、じわじわ覚える人に、色々なタイプがいるが、『尊敬出来るな』と、思った先輩のマナから始めることも、仕事を覚えるひとつのコツ。我々の仕事は人間相手の仕事であるため、自分を成長させて色々なことを教えてくれるのは、患者さんなどの利用者であること、いつまでも忘れないように心掛けて欲しい。」と、お話をされました。

式は、院長の挨拶に続いて、辞令交付に移りました。本年度は豊科病院に2名、介護老人保健施設安曇野メディアに4名、合わせて6名の職員が入職し配属辞令が交付され、それと共に昇格辞令交付も行われました。

また、本を読んで独学で最初から仕事ができる人は殆どいない。仕事をすぐ覚える人に、じわじわ覚える人に、色々なタイプがいるが、『尊敬出来るな』と、思った先輩のマナから始めることも、仕事を覚えるひとつのコツ。我々の仕事は人間相手の仕事であるため、自分を成長させて色々なことを教えてくれるのは、患者さんなどの利用者であること、いつまでも忘れないように心掛けて欲しい。」と、お話をされました。

平成20年度の新年度式が4月1日に行われました。五味淵院長の挨拶では、「新しく就職された方は、慣れない環境で気を遣い疲れもの。1日目で気を遣い疲れ、それが2日目に疲れた時の疲れが残る、次は1ヶ月、次は半年と、節目と同時に疲れを感じながらも、そうやって皆仕事を継続していく。」



平成20年 新年度式

委員会活動報告 ～CS委員会～

豊科病院には20の委員会があり、それぞれの分野に応じた活動をしています。

今回は、CS委員会の活動をご紹介します。皆さんは、CS委員会をご存知でしょうか? 『OS』とは、Customer(顧客) Satisfaction(満足)の頭文字であり、皆さんに当院をより満足してご利用していただくことを目的に活動している委員会です。このCS委員会ですが、活動内容は大きく分けて5つあります。



①【意見箱】

意見箱は、院内の各病棟及び外来の計6箇所に設置されています。意見箱は、当院を利用される皆さんから、良い点・悪い点、また気付かれたことなど、どんなことでも自由にご意見いただくことを目的にしています。



意見箱に入れていただいたご意見は、週に1度回収し、該当部署へ届けられます。そして、その部署からの回答を、意見

箱の近くに掲示しています。また、ご意見の内容によっては、担当部署が迅速に対応・改善をするよう努めています。

更に、スタッフ専用の意見箱も設置し、当院のサービス改善のための意見も求めています。

②【アンケート】

年に1回、入院患者さんと外来患者さんにアンケートを、ご記入いただいています。アンケートの内容は、各職員の対応から病院のハード面まで、幅広い項目についておうかがいし、当院のソフト面とハード面を改善する、貴重な資料として活用させていただきます。

アンケートは、集計後、円グラフ等でまとめ、病棟や外来に掲示しています。



③【掲示物の管理】

院内には、色々な掲示物があります。当院からのお知らせをはじめ、外部から掲示の依頼があったポスターなど様々です。掲示物を種類別に整理する作業や、期限が切れた物の撤去等、皆さんにご覧になりやすいよう掲示物の管理をしています。

④【接遇週間の実施】

皆さんが当院を満足してご利用いただく第一の基本が、職員の接遇です。CS委員会では、職員を対象に、年4回実施し、院内に接遇向上の標語を掲示するなど、職員の意識改革を図っています。

⑤【美化活動】

CS委員会では、皆さんに気持ちよく来院していただけるように、院内外の美化活動をしています。駐車場の花壇やプランター作りをはじめ、駐車場の草取りやゴミ拾いをしています。今は、移植したばかりの花々が伸び盛りの時期であり、CS委員会の委員が毎日の『水くれ』を担当制で行っています。



以上、5つの活動をご紹介いたしました。今後も委員会名の通り、これまで以上に充実した「Customer(顧客Satisfaction満足)」を目指して、活動していきたいと思っています。

安曇野市一斉清掃への参加

安曇野市の春の一斉清掃は、平成20年5月25日に行われましたが、当院は業務の都合上、5日後の5月30日を一斉清掃の日として、清掃活動に参加させていただきました。



5月30日は『5300ゴミゼロの日』の日。そのゴミにちなんで、院内の環境管理委員会がこの日を一斉清掃の日を設定しました。清掃の範囲は、豊科病院から田沢街道を東へ(近代美術館方面へ)進む1班と、豊科病院から北へ(豊科北中学校方面へ)進

む2班に分かれ、沿道のゴミや空き缶を拾い、草刈り、U字溝の清掃等を行いました。田沢街道は道路の拡張工事が一区間完了し、歩道も真新しくなりましたが、ゴミは依然として多くみられました。

参加した職員は、『一人一人のマナーの大切さ』を実感した一日になりました。



アウトドアライフから『PPK』へ

介護員 柴野 吉正

最近見たテレビで長野県の人には『PPK』が生きて行く理想的な姿と捉えている、というようなことが放送されていました。

『PPK』とはなんぞや？その番組によると生きているうちは『ピンピン』元気に、そしてお迎えが来た時は、末練を残さず『コロリ』と逝く、それがお年寄りの理想的な生き方、その頭文字をとって『PPK』と言うのだそうです。

さて『PPK』を実践するにはどうするか？私の場合は元氣に健康作りでウォーキング中心に溪流釣り、マレットゴルフなどアウトドアでの運動で健康作りをしています。

その中でもウォーキングは、気の向いた時

に、気の向いた時間・距離を週に3日くらいは実施しています。

そんなある時、若い看護師から「山へ連れて行って下さい！」と言われ、この年齢になっても登山など考えてもいませんでした。

ウォーキングの延長みたいなものだと、よく考えもせず軽はずみな性格が災いして、つい「常念くらいならいいよ」と答えてしまいました。

それからが苦行の始まり。いやいやながら計画を立て、準備をし、その日が近づくにつれ、持ち物は大丈夫か、保険は機能しているか、天気はどうか、歩いている途中に心臓がとまったらどうしよう、足が痛かったら、転んだら・・・いろんな理由で仲間に迷惑かけたら、などなど心配事に暇がなく、そんな気持ちを引き摺りながら実行日当日を向かえました。

深夜2時〜3時頃、心配で良く眠れなかったボートとした頭で、目的地目指して歩き出し、確実に1歩1歩、歩いているうちに汗が出て、それとともに昨夜までの心配事などほとんど忘れ、そのうち陽も上がり沿道の花々、大自然の



赤岩岳付近より槍ヶ岳を望む

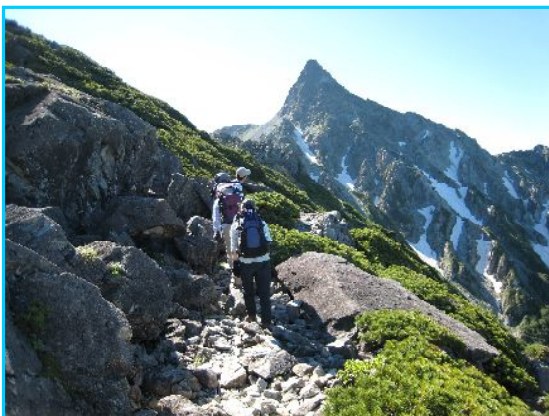
雄大な景色を見ながらひたすらに目的の頂に向かって歩を進め到着。

腰を下ろしゆっくりと360度に展開する風景の見事に心奪われ、仲間と談笑しながら一時を過ごす。それも最初の頃はさほどでもなかったが、最近では、行程はきついけれど頂に立った時の爽快感、仲間と過ごす一時、それが忘れられず、次はこの山に行きたいなど、次々と目的が出来、最近では山登りの苦行が少しは楽しみに変化してきたかな？などと考えています。

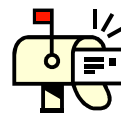
今まで常念岳、蝶ヶ岳、燕岳、爺ヶ岳、奥穂高岳、槍ヶ岳、五竜岳等、1年に3回のペースで登っています。

私の『癒し』は健康作りで始めたアウトドア体験。この間見た新聞記事に「癒しとは感情の動きの後に訪れる、リラックスした状態、最初からリラックスした状態を求めても得られず、何かに感動することが重要だ」とありました。

山登りと言わずアウトドアに出て体を使い沢山感動すること、それが今私の最上の癒しとなっています。体の動き限りアウトドアを楽しみ最終的には『PPK』といきたいものです。



東鎌尾根より槍ヶ岳を望む



関連施設だより

平成20年5月23日、グループホーム・ケアホーム第1飛鳥荘と第2飛鳥荘は、春の合同小旅行に行つてまいりました。この旅行は、グループホームに入居されているメンバーの方々が、旅行の行程を話し合い企画されたものです。毎月、担当のメンバーさんが『旅行積立』の集金もされ、年2回の小旅行が実現しています。

今回は『春のビーナスラインの旅』と称して、山辺↓よもぎこば林道↓美ヶ原↓ビーナスライン↓八島ヶ原湿原↓白樺湖、をまわる行程。当日は晴天で、まさにドライブ日和。道中の山あいでは満開の桜を見ながら、そして美ヶ原では残雪に囲まれ、その涼しさと平地との季節の違いに皆驚かれていました。昼食は白樺湖畔のお店に寄り、一部の方は『ぼたん鍋(イノシシの肉)』を注文され、その独特の食感も思い出の一つになった様子です。

高原の新緑と空気を満喫され、第1飛鳥荘と第2飛鳥荘の皆さんは、リフレッシュした表情をされていました。



外来 医師担当表

平成20年 6月現在

曜日	月	火	水	木	金	土
精神科	中澤 知遠 医師	西里 吉昭 医師	五味洸 満徳 医師	五味洸 満徳 医師 or 中澤 知遠 医師	中澤 知遠 医師	五味洸 満徳 医師
内科	信州大学 第一内科 医師	休 診	休 診	休 診	休 診	休 診

◎ 受付時間 午前 8:00～午前 12:00

◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで

※ 午後は全科**休診**となります。

※ 日祝祭日は全科**休診**となります。

※ 精神科木曜日の担当医は、週ごとに変更となります。

※不明な点は、受付へご確認下さい。

お問い合わせ 電話 0263-72-8400



～ 編集後記 ～

豊科病院広報誌「雪がた」第10号をお届けしましたが、お読みになっていかがでしたでしょうか？

いよいよ梅雨入りが発表されましたが、梅雨(ばいう)の語源には、この時期は湿度が高くカビが生えやすいことから「黴雨(ばいう)」と呼ばれ、これが同じ音の「梅雨」に転じたという説、この時期は、梅の実が熟す頃であることからこう呼ばれた説、“毎”日のように雨が降るから「梅」という字が当てられたという説、といくつかあることをご存知でしたか？

どれにしても、高温多湿の日本。梅雨から夏にかけてはカビやダニといった「梅雨の悪人」が発生しやすい季節です。風通しの良かった木造の家にかわって、密閉性の高い住まいが増えたおかげで、人間だけでなく、カビやダニにとっても居心地の良い環境になってきています。

晴れた日にはこまめに換気をしましょう！

※表題「雪がた」について 春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。

また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。